

# 新型コロナウイルス感染症に関する検査体制整備計画

## 概要

### 【基本的な考え方】

国の指針（新型コロナウイルス感染症の検査体制整備に関する指針）に則り、過去最大規模の新規感染者が生じた場合（通常時最大）及び過去に経験したことのない感染状況下（緊急時最大）でも十分な検査ができるよう、検査体制を整備する。


## 1 検査需要

- ▷ 今年1月の過去最大の新規感染者数(2,520人)をベースに算出
- ▷ 緊急時最大にあたっては過去最大の新規感染者数の2倍を見込む
- ▷ 変異株対応(新規感染者数の40%)及び高齢者施設等における定期的・集中的検査や都独自の戦略的検査も含む

【通常時最大】約5.3万件/日 ⇒ 【緊急時最大】約7.9万件/日と想定

## 2 検査体制

医療機関等の検査体制の整備と検査処理機関の能力増強を両輪で推進し、検査需要に対応



通常時最大: 約7.0万件/日、緊急時最大: 約9.7万件/日  
の検査処理能力を確保

### ※ 検体採取体制

約7.0万件～約9.7万件/日を確保（診療時間や体制の拡充により変動）

### ※ 検査分析体制

【通常時最大】約8.4万件/日 ⇒ 【緊急時最大】約11.2万件/日処理

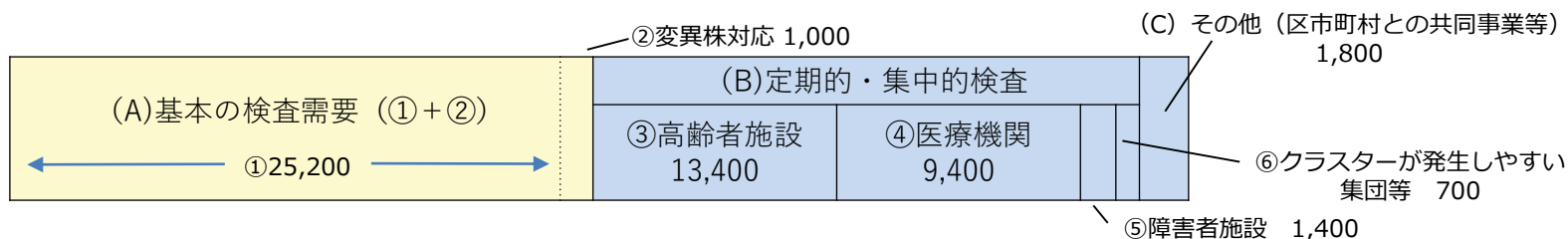
# 1 検査需要について

以下(1)、(2)のとおり通常時・緊急時それぞれの最大検査需要を設定

(1) 通常時最大(過去最大規模の新規感染者が生じた場合)検査需要 = 5.3万件/日

= (A) 基本の検査需要 + (B) 高齢者施設等における定期的・集中的検査 + (C) その他(区市町村との共同事業等)

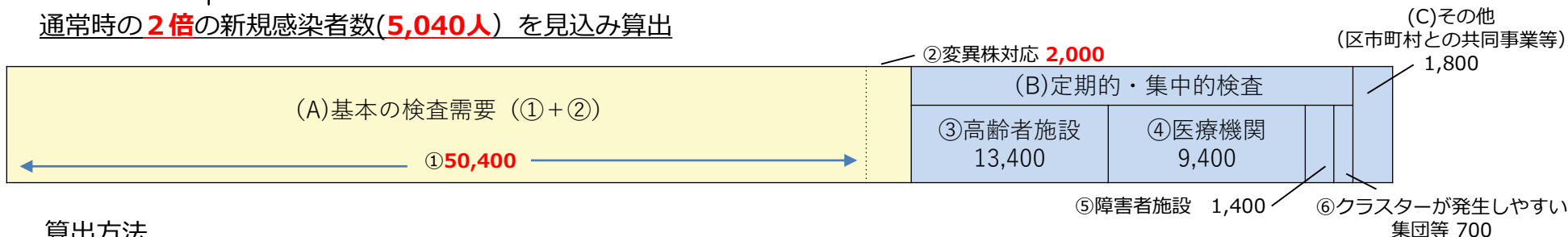
今年1月の過去最大の新規感染者数(2,520人)をもとに算出



(2) 緊急時最大(過去に経験したことのない感染状況下)検査需要 = 7.9万件/日

= (A) 基本の検査需要 + (B) 高齢者施設等における定期的・集中的検査 + (C) その他(区市町村との共同事業等)

通常時の**2倍**の新規感染者数(**5,040人**)を見込み算出



算出方法

(A) 基本の検査需要

①: 過去1日当たり新規感染者数の最大値(緊急時は2倍)2,520(5,040)をその日の陽性率(ただし10%以上の場合は10%)10%で除した数

②: 過去1日当たり新規感染者数の最大値(緊急時は2倍)の40%の数値

(B) 定期的・集中的検査

③~⑥: 週1回定期的な検査を行うことを想定し算出(通常時も緊急時と同様の対応)

## 2 検査体制について

### ① 都の検査処理能力

#### ※検体採取体制

- 約7.0万件～約9.7万件（診療時間や体制の拡充により変動）

【都の検体採取能力】

（単位：件／日）

行政検査 委託医療機関	PCRセンター	保健所	定期的・集中的検査				その他 (区市町村 との共同 事業等)	合計
			高齢者施設	医療機関	障害者施設	クラスターが発生 しやすい集団等		
約4.0万～ 約6.2万	約900～ 約1,300	約1,600～ 約6,500	約13,400	約9,400	約1,400	約700	約1,800	約7.0万～ 約9.7万

#### ※検査分析体制

- 通常時最大：約8.4万件／日
- 緊急時最大：約11.2万件／日

【通常時最大・緊急時最大における都の検査分析能力】

（単位：件／日）

検査実施機関	都健安研・保健所	民間検査機関	医療機関	合計
通常時最大	約900	約6.1万	約2.2万	約8.4万
緊急時最大	約1,300	約7.7万	約3.4万	約11.2万

対検査需要比  
1.2～1.3倍

通常時最大：約7.0万件/日、緊急時最大：約9.7万件/日の検査処理能力を確保

### ② 緊急時に向けた対応

- ・これまでの体制拡充に向けた取組として、検査を受ける必要のある方が身近な地域で検査できる体制を維持しつつ、今後の感染拡大に備えて、検査機関等に試薬等の確保や人員体制の拡充を要請
- ・高齢者施設等の各施設・集団に応じた適切な検査方法を選択し、定期的・集中的検査を実施
- ・変異株については都健安研の検体受入れ体制の強化、民間検査機関での検査を拡充